

平成 22 年度

決算 7 会計を認定

経常収支比率の推移



※財政指標の見方は 15 ページを御覧下さい

決算特別委員会において、平成22年度の一般会計ほか6会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額255億5236万円、歳出総額249億3208万円とし、歳入歳出差引額は、6億2028万円です。うち1億9千万円は基金に繰り入れます。

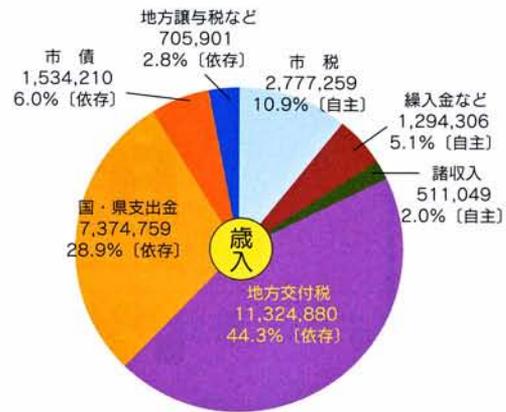
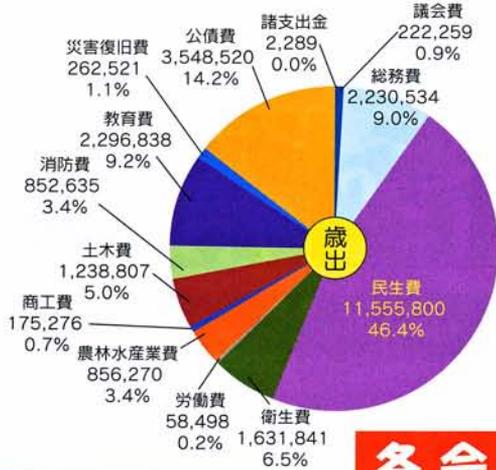
市の財政状況としては、市税などの自主財源が18・0%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が82・0%と、他に頼った自治体運営となっています。

経常収支比率は、95・6%と前年度より向上しましたが、財政力指数は0・265ポイントと、前年度より若干悪化した結果となりました。

審査の結果、7会計ともに出席者全員をもって認定されました。

一般会計決算の状況

(単位千円)



各会計の決算額

	歳入	歳出	差引額	
一般会計	255億5,236万円	249億3,208万円	6億2,028万円	
国民健康保険事業特別会計	53億1,903万円	55億9,279万円	△2億7,376万円	
老人保健事業特別会計	5,196万円	5,196万円	0万円	
後期高齢者医療特別会計	5億8,019万円	5億6,676万円	1,343万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	7,180万円	3,866万円	3,314万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	54億2,379万円	53億9,297万円	3,082万円
	サービス事業勘定	5,196万円	5,196万円	0
水道事業会計	7億9,815万円	9億5,275万円	△1億5,460万円	